

完全コピー・シリーズ ③

K E I T H
J A R R E T T

キース・ジャレット ピアノ奏法 **VOL 2**

by Yasutosi Imamori

CHUO ART PUBLISHING CO., LTD.



序 文

キース・ジャレットの代表的レコード「STANDARDS, VOL.1/キース・ジャレット・トリオ」、「STANDARDS, VOL.2/キース・ジャレット・トリオ」、「星影のステラ/キース・ジャレット・トリオ“スタンダース”ライブ！」この三枚のレコードより曲を厳選して精緻に採譜し、それを分析したのが本書です。

キース・ジャレットの音楽活動は、ユニークなピアノ・ソロの数々のアルバム『代表作“ケルン・コンサート”(ECM)』、またクラシックへの接近といった、これまでのジャズから少し離れた活動が注目をあびていましたが、80年代に入ってスタンダード・ジャズに関心を示し、大変話題となりました。

キース・ジャレットのピアノは、人間的なぬくもりを持つ素晴らしい世界を形成しています。彼のピアノ技法は、豊かな色彩感、ダイナミズムの点において他のピアニストと一線を画しています。ある意味で、日本音楽における尺八の演奏のように、一音一音に自己の全存在を賭けた、凝縮した表現につながっているのだと思います。

本書が、キース・ジャレット研究のお役に立てれば幸いです。なお、本書を編集するにあたり、紺屋達子氏に協力して頂いたこと心からお礼申し上げます。

1988.3.28

紺屋 達子

KEITH JARRETT VOL.2

●序文

キース・ジャレット・ヴァイオグラフィー……………3

本書の使用法……………4

稲森康利編曲によるやさしいキース・ジャレット・ピアノ・ソロ

●STELLA BY STARLIGHT……………6

●IT NEVER ENTERED MY MIND……………10

●FALLING IN LOVE WITH LOVE……………12

Improvised by Keith Jarrett

1. THE MASQUERADE IS OVER <H.Magidson & A.Wrubel>……………16

Original Tune……………31

Improvisation の Chord Progression……………32

Advice……………33

Improvised by Keith Jarrett

2. I FALL IN LOVE TOO EASILY <J.Styne & S.Cahn>……………35

Original Tune……………42

Improvisation の Chord Progression……………43

Advice……………44

Improvised by Keith Jarrett

3. THE WAY YOU LOOK TONIGHT <D.Fields & J.Kern>……………45

Original Tune……………66

Improvisation の Chord Progression……………67

Advice……………68

Improvised by Keith Jarrett

4. IF I SHOULD LOSE YOU <L.Robin & R.Rainger>……………70

Original Tune……………90

Improvisation の Chord Progression……………91

Advice……………92

Improvised by Keith Jarrett

5. IN LOVE IN VAIN <L.Robin & J.Kern>……………95

Original Tune……………109

Improvisation の Chord Progression……………110

Advice……………111

●キース・ジャレット・ディスコグラフィー……………114

●キース・ジャレット・ビデオグラフィー……………116



Biography

キース・ジャレット

キース・ジャレットが我々の前に現れたのは1966年、若干21歳の時であった。チャールズ・ロイドのカルテットが絶大な人気を得たころ、実に明るく輝くピアニストとしてみんなの関心を集めた。この折、同時に騒がれたドラマーがジャック・デジョネットだった。

キースは、元来自分の過去を述べることを嫌う男だ。昔は必要があって少し語ったこともあったものの、「ひとたび語り始めると延々続いていく」と言う。「近年になれば、ひとつひとつ単行本に成るほど話題が一杯だ」と言うが、一時は一切の取材を拒否し、世のジャーナリストを騒がせたが、現在においてもそう簡単に取材できないアーティストである。つまり、的確な取材は可能であっても、その全てが的確に表現されないからだろう。ここでは、彼の信念を理解した上で紹介する。

キース・ジャレットは、1945年5月8日5人兄弟の長男としてペンシルヴァニア州アレンタウンに生まれた。バド・パウエル、アート・テイタム、ビル・エヴァンス、マッコイ・タイナーらを正統的に継承して発展するキースは、3才でピアノを習い、7才でリサイタルを開き、以後プロの道を歩むという天才ぶりを示す。また天性の感性から、ドラム、サクソ、パーカッションを始め、バイブにもひとかどの腕を持っている。1962年、2時間にわたる自作の演奏会を開き、1年間奨学生としてボストンのパークリーに学んだ。その後65年にニューヨークへ出たキースは妥協することなく一人で活動の場を求め歩き、トニー・スコット、アート・ブレイキー&ジャズ・メッセンジャーズと経て66年にチャールズ・ロイドのカルテットで華々しくデビューした。この頃、ジャズ界でその名を世界的に轟かせるとともに、ロイドから数々の哲学を示唆される。特異なイデオログ、GIグルジェフを識ったのもこの時であった。グルジェフの音楽を語ることで、キースは言葉で語りえなかった自分の音楽観を見出し出していった。それから、グルジェフの書を読みあさり、どんどん近づいていった。71年の「フェイシング・ユー」に始まるソロ・パフォーマンスは、そうしたマインドづくりがベースとなっている。そして、1968年には念願のトリオを組んでボルテックスに話題作「人世の2つの扉」を吹き込み、1970年にマイルス・バンドに参加し絶大な注目を集めた。71年にはデューイ・レッドマン、チャーリー・ヘイデン、ポール・モチアンらから成る自己のカルテットを結成して活動を安定化させる一方、世界各地でソロ・ピアノ演奏会を開き、前人未踏の輝かしいピアノ・ソロの世界を築き上げ、ジャズという枠を超えた多くのファンを獲得した。インプロビゼーションを核として活動するキースは、ソロ・パフォーマンスでのきびしいセルフ・コントロール(自己抑制)が、彼の音楽人生と見事なまでにクロスして繰り広げる新しい旅にどんどんかけていく自分を知得したのだろう。何と云っても、ソロ・パフォーマンスは演る人も、聴く人も、厳しくセルフ・コントロールされるものだ。とりわけ、3枚組の「ソロ・コンサート」(ECM)はダウン・ビート誌、スウィング・ジャーナル誌など世界各国で、1974年度の最優秀レコードに選ばれ、ダウン・ビート誌国際批評家投票(1975年)で、ピアノ部門でマッコイ・タイナーと首位を分けあったほどであった。その後は、ソロ、2つのカルテット、そしてオーケストレーションと幅広い活躍でその天才ぶりを発揮している。ECMには既に20枚以上のアルバムがあるが、ピーコック〜デジョネットとの近作は最大の話題を呼んでいる。キース・ジャレットは、今やジャズ界で最も輝かしいピアニストとして君臨するばかりでなく、今後もますます世界へ放つとてつもない音楽を創造してゆくにちがいない。

《本書の使用法》

① 本書は次の様な構成になっています。

● Improvised

(注) キース・ジャレットの演奏を採譜したもの。

● Original Chord

(注) 原曲のメロディーと、原曲のコード進行。

● Improvisation of Chord Progression

(注) キース・ジャレットによって、レコードで使用されているコード進行。

曲によってはオリジナルに近いもの、又はかなりリハモナイズされたものがあります。

この項目には、アヴェイラブル・ノート・スケールと、ローマ数字によってコードの機能が理解されるように記されています。

● Advice

(注) オリジナル・チューンをどのようにヴァリエーションしたかについて理論的な説明及び演奏の際の注意について述べてあります。

② Improvisation of Chord Progression のアヴェイラブル・ノート・スケールは、次の様に省略記号によって表記してあります。

Ionian	Ion
Dorian	Dor
Phrygian	Phr
Lydian	Lyd
Mixo-Lydian	Mixo
Aeolian	Aeo
Locrian	Loc
Lydian 7th	Lyd 7th
Altered Dominant	Alt
Combination of Diminished	Com Dim
Whole Tone	Whole Tone
Harmonic Minor Scale Perfect 5th Below	Hmp. 5↓
Altered Dorian	Alt Dor
Tonic Minor	Tonic Min
Diminished	Dim
Blue Note	B. N.

(注) アヴェイラブル・ノート・スケールの知識及び使用法について、まだ学んでいない学習者は理解することが困難かと思しますので、ジャズの理論書で学んでください。

- ◎コピーした楽譜を、レコードと一諸に注意深く聴き、アーティキュレーションをつかんでください。また、ジャズ独自の表現を何回も聴いて、つかんでください。

アーティキュレーション
<articulation>メロディーやフレーズに強弱やアクセントもしくは区切りなどをつけて、どのように表現するか、という意味です。

- ④コード・ネームの表記で、次の様に()のついたコードがあります。

(Falling in Love With Love)

|| F (Gm7) | F D7 | Gm7 †

上記の(Gm7)は次のFのコードを代理コードのAm7として考えれば、

|| Fm7 Gm7 | Am7 D7 | のように、Fのコードが6拍続くオリジナルなコードを、
ダイアトニック進行

キース・ジャレットによって即興的に、ダイアトニックな進行に変化したこととなります。()のコードはこの様にキース・ジャレットによって即興的に変化させたコードのみにつけられています。

この変化のさせかたは、次の方法もとられています。

- パッシング・コードの利用。
- V7をIIIm7 V7に変化させる。V7をbIII7に変化させる。
- ドミナント・モーションを導入させる方法。

- ◎キース・ジャレットの^{レフト} ^{ハンド} ^{ボイシング} Left Hand Voicingについて

キース・ジャレットのL.H.Voicingは、ジョン・ミーガン(ジャズ理論家)によって整理されたビル・エヴァンスのL.H.Voicingと、様々な面で異なっています。学習者は一般的なL.H.Voicingと、どの様な違いがあるのかを検討しなさい。

- ①やさしいキース・ジャレットについて

初心者のために特に技術的にやさしくした編曲を、3曲掲載しました。

左手のL.H.Voicingを全音符もしくは二分音符で表わしていますが、学習者のリズム的センスで自由に動かしてください。

《やさしいキース・ジャレット・ピアノ・ソロ》
STELLA BY STARLIGHT

Words by Ned Washington & Music by Victor Young

稲森康利：編曲

■ L.H. Voicing (左手のコード) を全音符と2分音符で表わしています。
 演奏者自身のフィーリングで左手は自由に動かしてください。

Medium Tempo
Theme

© Copyright 1946 by FAMOUS MUSIC CORPORATION
 All Rights Reserved Used by permission
 Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan, South Korea & Formosa

G7 Cm7(Cdim) Cm7

The first system of music consists of four measures. The first measure has a G7 chord in the bass and a melodic line in the treble. The second measure has a Cm7(Cdim) chord in the bass. The third measure has a Cm7 chord in the bass. The fourth measure has a Cm7 chord in the bass and a melodic line in the treble.

E^bm A^b7 B^b tot \oplus 3

The second system of music consists of four measures. The first measure has an E^bm chord in the bass. The second measure has an A^b7 chord in the bass and a triplet of eighth notes in the treble. The third measure has a B^b chord in the bass. The fourth measure has a triplet of eighth notes in the treble.

Em7(b5) A7 D7 G7

The third system of music consists of four measures. The first measure has an Em7(b5) chord in the bass. The second measure has an A7 chord in the bass and a triplet of eighth notes in the treble. The third measure has a D7 chord in the bass. The fourth measure has a G7 chord in the bass.

Cm7 Cm7 F7 B^b

The fourth system of music consists of four measures. The first measure has a Cm7 chord in the bass. The second measure has a Cm7 chord in the bass and an F7 chord in the treble. The third measure has a B^b chord in the bass. The fourth measure has a B^b chord in the bass.

Improvisation
Em7(b5) A7 Cm7 F7

The fifth system of music is labeled "Improvisation" and consists of four measures. The first measure has an Em7(b5) chord in the bass. The second measure has an A7 chord in the bass. The third measure has a Cm7 chord in the bass. The fourth measure has an F7 chord in the bass.

Fm7 B^b7 E^b E^bm7

B^b Em7(b5) A7 Dm B^bm7

A7 D7 Gm7 C7 Am7(b5) D7

G7 Cm

E^bm A^b7 B^b

Em7 A7 D7 G7

Cm7 F7 B^b Theme

Coda
B^b Em7(b5) A7 D7

G7 Cm Rubato Cm7 F7 Em7(b5)

A7 Dm7(b5) G7 Cm7(b5) F7 B^b

《やさしいキース・ジャレット・ピアノ・ソロ》

IT NEVER ENTERED MY MIND

Words by Lorenz Hart & Music by Richard Rodgers

稲森康利：編曲

Medium Slow ♩=69

F Gm7 FM7aug F Gm7 F Gm7

C Pedal

F Gm7 Gm7onBb A7 Dm7 Gm7 3 G7 Gm7onC C7

C Pedal

FM7 Gm7 FM7aug F Gm7 F Gm7

C Pedal

F Gm7 Gm7onBb A7(#9) Dm7 Gm7 G7 Gm7 C7 Cm7 F7

C Pedal

Copyright © 1940 by CHAPPELL & CO., INC.
Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K. K.

B^bM7 Am7 Gm7 C7 F dim7 F Gm7 C7(b9)

FM7 Gm7 3 Am7 Bm7(b5) E7(b9) Am7 3 D7(b9) Gm7 C7 3

FM7 C Pedal----- Gm7 C7(b9) F Gm7 FM7 Gm7

Gm7 C Pedal----- C7 C7onB^b Am7 D7(b9) Gm7 C7(b9)

Em7 A7 Am7 D7 Gm7 C7sus4 F dim FM

rit.-----

《やさしいキース・ジャレット・ピアノ・ソロ》
FALLING IN LOVE WITH LOVE

Words by Lorenz Hart & Music by Richard Rodgers

稲森康利：編曲

■ L.H. Voicing (左手のコード) を全音符と2分音符で表わしています。
 演奏者自身のフィーリングで左手は自由に動かしてください。

Medium

Theme

Copyright © 1938 by CHAPPELL & CO., INC.
 Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K. K.

F F D7 Gm7

Gm7 C7 F Gm7 C7

F Em7 A7 D7

Gm7 F# dim7 Gm7 C7 tot F (Pick up Solo)

Improvisation

F F D7 Gm7

Gm7 C7 F Gm7 C7

First system of musical notation (measures 1-4). The key signature has one flat (Bb). The first measure has a Gm7 chord and a half note G4. The second measure has a C7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The third measure has an F chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The fourth measure has a Gm7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5.

F Em7 A7

Second system of musical notation (measures 5-8). The fifth measure has an F chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The sixth measure has an Em7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The seventh measure has an A7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The eighth measure has an A7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5.

Dm7 G7 Gm7 C7

Third system of musical notation (measures 9-12). The ninth measure has a Dm7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The tenth measure has a G7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The eleventh measure has a Gm7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The twelfth measure has a C7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5.

F F D7 Gm7

Fourth system of musical notation (measures 13-16). The thirteenth measure has an F chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The fourteenth measure has an F chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The fifteenth measure has a D7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The sixteenth measure has a Gm7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5.

Gm7 C7 F Gm7 C7

Fifth system of musical notation (measures 17-20). The seventeenth measure has a Gm7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The eighteenth measure has a C7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The nineteenth measure has an F chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5. The twentieth measure has a Gm7 chord and a quarter note G4, quarter note A4, quarter note Bb4, quarter note C5.

F Em7 A7 D7

The first system of music consists of two staves. The upper staff contains a melodic line with eighth and quarter notes, and the lower staff contains a bass line with chords. Chord labels F, Em7, A7, and D7 are placed above the upper staff.

Gm7 F#dim7 Gm7 C7 3 F Gm7 C7

The second system of music consists of two staves. The upper staff contains a melodic line with eighth and quarter notes, and the lower staff contains a bass line with chords. Chord labels Gm7, F#dim7, Gm7, C7, F, Gm7, and C7 are placed above the upper staff.

♩ Coda

A7(13) D7(#9) Gm7 F#dim7 Gm7 C7 F

The Coda section consists of two staves. The upper staff contains a melodic line with quarter and eighth notes, and the lower staff contains a bass line with chords. Chord labels A7(13), D7(#9), Gm7, F#dim7, Gm7, C7, and F are placed above the upper staff. A double bar line with repeat dots is at the end of the section.



THE MASQUERADE IS OVER

Improvised by Keith Jarrett
 Words by Herbert Magidson
 Music by Allie Wrubel

●使用レコード

Keith Jarrett
 Gary Peacock
 Jack DeJohnette

■スタンダードズVol.1 (ポリドール)

- ミーニング・オブ・ザ・ブルース/スーパースィングス・ユー・アー・ナイト・ネヴァー・エンタード・マイ・マインド/ザ・マスカレイド・イズ・オーヴァー/ゴッド・ブレス・ザ・チャイルド
- キース・ジャレット(Piano)、ゲイリー・ピーコック(Bass)、ジャック・ティジョネット(Drums)
- CD: J33J-20200, LP: 25MJ-3288, MC: 25CJ-0027
- 1983年1月録音

1

Fm B^b7 E^b Fm7 B^b7 E^b

5

D7 Gm7 C7 Cm7 F7 Fm7 B^b7

Theme

9

E^b Dm7 G7 Cm7 Cmon B B^bm7 E^b7

Copyright © 1938 by CHAPPELL & CO., INC.
 Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K. K.

Am7 D7 Gm7 C7 F#m7 B7 Fm7 Bb7

13

Eb Bbm7 Eb7 Ab Abm7 Db7

17

Gm7 Gm7 C7 Fm7 Bb7

21

Eb Dm7 G7 Cm7 CmonB Bbm7 Eb7

25

Am7 D7 Gm7 C7 F#m7 B7 Fm7 Bb7

29

Eb Bbm7 Eb7(A7) Ab Abm7 Db7

33

EbonBb Fm7 Bb7 Eb

37

Fm7 Bb7 Eb Fm7 Bb7 Eb

41

Am7 D7 Gm7 C7 Cm7 F7 Fm7 Bb7

45

Eb Dm7 G7 Cm7 3 Bbm7 Eb7

49

Am7 D7 Gm7 C7 F#m7 B7 Fm7 Bb7

53

Eb Bbm7 Eb7 Ab Abm7onDb Db7

57

Gm7 (C7) Fm7 B^b7 E^b Fm7 B^b7

61

1 E^b Dm7 G7 Cm7 B^bm7 E^b7

65

Am7 D7 Gm7 C7 F[#]m7 B7 Fm7 B^b7

69

E^b B^bm7 E^b7 A^b A^bm7 D^b7

73

Gm7 C7 Fm7 B^b7 E^b

77

Dm7(b5) G7 Cm7 B^bm7 E^b7 Am7 D7

82

Gm7 C7 F[#]m7 B7 Fm7 B^b7 E^b

86

B^bm7 E^b7 A^b D^b7 E^b

90

Fm7 B^b7 E^b Fm7 B^b7

94

E^b Fm7 B^b7 E^b Am7 D7

98

Gm7 C7 Cm7 F7 B^b7 E^b

102

Dm7 G7 Cm7 B^bm7 E^b7 Am7 D7

106

Gm7 C7 F#m7 B7 Fm7 Bb7 Eb

110

Bbm7 Eb7 Ab Abm7 Db7 Gm7 C7

114

Fm7 Bb7 Eb Fm7 Bb7 2 Eb

118

Dm7 G7 Cm7 Bbm7 Eb7 Am7 D7

122

Gm7 C7 F#m7 B7 Fm7 Bb7 Eb

8va

126

Bbm7 Eb7 Ab Abm7 Db7 Gm7 Gm7 C7

130

Fm7 Bb7 Eb Dm7 G7

135

Cm7 Bbm7 Eb7 Am7 D7 Gm7 C7

139

143

F#m7 B7 Fm7 Bb7 Eb Bbm7 Eb7

147

Ab Abm7 Db7 Eb Fm7 Bb7

151

Eb Fm7 Bb7 8va

154

Eb Fm7 Bb7 Eb Am7 D7

158

Gm7 C7 Cm7 F7 Fm7 B^b7

161

E^b Dm7 G7 Cm7 B^bm7 E^b7

165

Am7 D7 Gm7 C7 F[#]m7 B7 Fm7 B^b7

169

E^b B^bm7 E^b7 A^b A^bm7 D^b7

8va

Gm7 C7 Fm7 B^b7 E^b Fm7 B^b7

173

Last Theme

Bass Solo E^b D m7(b5) G7

177

Cm7 B^bm7 E^b7 Am7 D7 Gm7 C7

235

F[#]m7 B7 Fm7 B^b7 E^b B^bm7 E^b7

239

A^b $A^b m7 on D^b$ $Gm7$ $C7$

243

$Fm7 on B^b$ B^b7 E^b $Dm7$ $G7$

247

$Cm7$ $CmonB$ $B^b m7$ E^b7 $Am7$ $D7$ $Gm7$ $C7(b5)$

251

$F^{\#}m7$ $B7$ $Fm7$ B^b7 E^b $B^b m7$ E^b7

255

8va

A^b A^bm7onD^b E^b Fm7 B^b7

8va

259

E^b Fm7 B^b7 E^b Fm7 B^b7

263

E^b Am7(b5) D7 Gm7 C7 Cm7 F7

268

Fm7 B^b7 E^b Dm7 G7 Cm7

272

Bbm7 Eb7 Am7 D7 Gm7 C7 F#m7 B7 Fm7 Bb7

276

Eb Bbm7 Eb7 Ab Ab monDb

281

8va

Eb Fm7 Bb7 Eb

Bb Pedal

285

Bb Pedal Fm7 EbM7

290

THE MASQUERADE IS OVER

Words by Herbert Magidson & Music by Allie Wrubel

ORIGINAL TUNE

The musical score is written in treble clef with a key signature of two flats (Bb and Eb) and a common time signature (C). It consists of ten staves of music. The first staff begins with a boxed 'A' and contains chords Eb, G7, Cm7, B7aug, Bbm7, and A7(b5). The second staff contains chords AbM, Gm7, C7, F7, and Bb7. The third staff contains Eb7, A7(b5), AbM, Db7, and EbM. The fourth staff contains C7, Fm7, Bb7, Gm7, C7, Fm7, and Bb7. The fifth staff contains EbM, B, Fm7, Bb7, Eb, Fm7, and Bb7. The sixth staff contains EbM, Am7, D7, Gm7, C7, F7, Fm7, and Bb7. The seventh staff begins with a boxed 'A' and contains chords Eb, G7, Cm, B7aug, Bbm7, and A7(b5). The eighth staff contains chords AbM, Gm7, C7, F7, and Bb7. The ninth staff contains Eb7, A7(b5), AbM, and Db7. The tenth staff contains F7, Fm7, Bb7, Eb, Fm7, and Bb7. Triplet markings are present over the notes Eb, G, and Cm in the first staff; Ab, Gm, and C in the second staff; Eb, A7(b5), and Ab in the third staff; C, Fm, and Bb in the fourth staff; B, Fm, and Bb in the fifth staff; Eb, G, and Cm in the seventh staff; and Ab, Gm, and C in the eighth staff. First and second endings are indicated by brackets and numbers 1 and 2 above the staves.

Copyright © 1938 by CHAPPELL & CO., INC.
Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K. K.

THE MASQUERADE IS OVER

Words by Herbert Magidson & Music by Allie Wrubel

IMPROVISATION OF CHORD PROGRESSION

E^b (注) $Dm7$ $G7$ $Cm7$ B^bm7 E^b7
 Ion Dor Alt Aeo Dor Alt
 Loc $Hmp.5 \downarrow$

E^b : I Cm : $Im7$ $V7$ Im A^b : $Im7$ $V7$
 $Am7$ $D7$ $Gm7$ $C7$ $F^{\#}m7$ $B7$ $Fm7$ B^b7
 Dor Alt Dor Phr Alt Dor Alt Dor $Mixo$
 Alt

Gm : $Im7$ $V7$ F : $Im7$ $V7$ E : $Im7$ $V7$ E^b : $Im7$ $V7$
 E^b B^bm7 E^b7 A^b A^bm7onD^b D^b7 $Gm7$
 Ion Dor $Mixo$ $Lyd(Ion)$ Dor $Lyd 7th$ Phr
 Alt Dor

E^b : I A^b : $Im7$ $V7$ E^b : I IVm $bVII7$ Fm : $Im7$
 $Gm7$ $C7$ $Fm7$ B^b7 E^b $Fm7$ B^b7
 Dor Alt Dor $Mixo$ Ion Dor $Mixo$
 Phr $Hmp.5 \downarrow$ Alt Alt

$Im7$ $V7$ E^b : $Im7$ $V7$ E^b : I $Im7$ $V7$
 E^b E^b $Fm7$ B^b7 E^b $Fm7$ B^b7
 Ion Dor $Mixo$ Ion Dor $Mixo$
 Alt Alt

I E^b : $Im7$ $V7$ I $Im7$ $V7$
 E^b $Am7$ $D7$ $Gm7$ $C7$ $Cm7$ $F7$
 Ion Dor Alt Dor Alt Dor $Lyd 7th$
 Phr $Hmp.5 \downarrow$

I Gm : $Im7$ $V7$ F : $Im7$ $V7$ B^b : $Im7$ $V7$
 $Fm7$ B^b7 E^b $Dm7$ $G7$ $Cm7$ B^bm7 E^b7
 Dor $Mixo$ Ion Dor Alt Aeo Dor Alt
 Alt Loc $Hmp.5 \downarrow$

E^b : $Im7$ $V7$ E^b : I Cm : $Im7$ $V7$ I A^b : $Im7$ $V7$
 $Am7$ $D7$ $Gm7$ $C7$ $F^{\#}m7$ $B7$ $Fm7$ B^b7
 Dor Alt Dor Phr Alt Dor Alt Dor $Mixo$
 Alt

Gm : $Im7$ $V7$ F : $Im7$ $V7$ E : $Im7$ $V7$ E^b : $Im7$ $V7$
 E^b B^bm7 E^b7 A^b A^bmonD^b D^b7
 Ion Dor $Mixo$ $Lyd(Ion)$ Dor $Lyd 7th$
 Alt Alt

E^b : I A^b : $Im7$ $V7$ I E^b : IV IVm $bVII7$
 $Gm7$ $C7$ $Fm7$ B^b7 E^b $Fm7$ B^b7
 Phr Alt Dor $Mixo$ Ion Dor $Mixo$
 Dor $Hmp.5 \downarrow$ Alt Alt

Fm : $Im7$ $V7$ E^b : $Im7$ $V7$ I $Im7$ $V7$

Copyright © 1938 by CHAPPELL & CO., INC.
 Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K. K.

THE MASQUERADE IS OVER

ADVICE

●Introductionについて。

Introduction(1小節目~8小節目)は、サビ(bridge)^{ブリッジ}のChord Progressionによって創られている。(Original Tuneの回からの8小節目がサビです。)

●ThemeのReharmonizationについて。

「The Masquerade is Over」のOriginal Tune(原曲)は、キース・ジャレットによって様々なReharmonizationが行なわれているので、その技法について分析してみよう。

Original Chord E^b
Reharmonization E^b

(a) G^7
 Dm^7 G^7 (triplet)

(b) Cm^7
 Cm^7 B^7aug (triplet)

(c) B^bm^7 $A^7(b5)$
 B^bm^7 E^b7

(d) A^bM^7
 Am^7 D^7 (triplet) Gm^7 C^7 (triplet)

(e) F^7
 $F\#m^7$ B^7

(f) B^b7
 Fm^7 B^b7

(g) $A^7(b5)$
 B^bm E^b7 A^bM^7
 A^b

(h) D^b7
 Abm^7 on D^b D^b7

(i) E^bM^7
 Gm^7

(j) C^7
 Gm^7

(k) Fm^7 B^b7
 Fm^7 B^b7

ⒶはOriginal Chord $G^7(V^7)$ を、 $IIIm^7 V^7$ に分割。

ⒷはOriginal Chord、 $Cm^7 B^7aug$ を、 Cm^7 に置きかえているが、 $Cm^7 B^7aug$ は $| Cm^7 B^7 | B^bm^7 A^7(b5) |$ と半音下行しているので、Original ChordがVoice Leading的視野でなめらかで良い。

Ⓒ $B^bm^7 A^7(b5)$ をもとの $IIIm^7 V^7(B^bm^7 E^b7)$ に直したもの。 $A^b : IIIm^7 \flat II^7$

Ⓓ $| A^bM^7 | Gm^7 C^7 |$ のOriginal Chordの Gm^7 を一時的にTonic Minorと考え、 Gm^7 に対しての $IIIm^7 V^7(Am^7 D^7)$ を導入した。

㉔のOriginal Chord $F^7(V^7)$ を、代理コードの $\flat II^7(B^7)$ に置き換え、 B^7 を $IIm^7 V^7(F\sharp m^7 B^7)$ に分割した。

㉕のOriginal Chord $B^{\flat 7}(V^7)$ を、 $IIm^7 V^7(Fm^7 B^{\flat 7})$ に分割。

㉖Original Chord | $A^7(\flat 5)$ | $A^{\flat M7}$ | の $\flat II^7$ を、原型の $IIm^7 V^7(B^{\flat m^7} E^{\flat 7})$ に直したものの。
A: II^7 I

㉗はOriginal Chordを、 $IIm^7 V^7$ に分割。

㉘はOriginal Chord $E^{\flat M7}$ を、代理コードの $IIIIm^7(Gm^7)$ に変化したもの。
 E^{\flat} : I

㉙はOriginal Chordを、 $IIm^7 V^7$ に分割。

THE MASQUERADE IS OVER

Words by Herbert Magidson & Music by Allie Wrubel

IMPROVISATIONのCHORD PROGRESSION

E^{\flat}	(注) Dm^7	G^7	Cm^7	$B^{\flat m^7}$	$E^{\flat 7}$
Ion	Dor Loc	Alt Hmp, 5↓	Aeo	Dor	Alt
E^{\flat} : I	Cm : IIm^7	V^7	Im	A^{\flat} : IIm^7	V^7

(注) Tonic minorに解決する $IIm^7 V^7$ は、基礎理論では $IIm^7(\flat 5) V^7(\flat 9) \rightarrow Im$ の形態となるが、
(Loc) (Alt)

キース・ジャレットは $IIm^7(\flat 5)$ と $IIm^7(\flat 5)$ のスケールを使いわけてImproviseしている。
(Loc) (Dor)

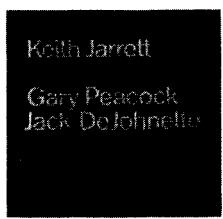


I FALL IN LOVE TOO EASILY

Improvised by Keith Jarrett
 Words by Jule Styne
 Music by Sammy Cahn

●使用レコード

■スタンダードズVol.2 (ポリドール)



■ソー・テンダー/ムーン・アンド・サンド/イン・ラヴ・イン・ウェイン/ネヴア
 ー・レット・ミー・ゴー/イフ・アイ・シュッド・ルース・ユー/アイ・フォール・
 イン・ラヴ・トゥー・イージー
 ■キース・ジャレット(Piano)、ゲイリー・ピーコック(Bass)、ジャック・ティ
 ジョネット(Drums)
 ■CD:J33J-20045,LP:25MJ-3475
 ■1983年1月録音

Rubato

Dm7 D^b7(9) CM7(#5) FM7 Bm7(b5) E7

Am B7(b5) B^b7 AmM7 B7

Esus4 E F[#]m7(b5) B7 E7(b9) E^b7(#11/9)

Dm Dm7 G7alt Em7(b5) A7

© Copyright 1944 by SKB/FEIST CATALOG INC.
 All Rights Reserved Used by permission
 Printing rights for Japan assigned to NICHION, INC.

in Tempo

Theme

Musical notation for measures 16-19. Chords: D7, G7, F, C, Dm7, G7, C, F. Includes a 3-measure triplet in the first measure.

16

Musical notation for measures 20-22. Chords: Bm7(b5), E7, Am, Bm7(b5), B7, E7. Includes a 3-measure triplet in the second measure.

20

Musical notation for measures 23-25. Chords: Am, F#m7(b5), B7, Bm7onE, E7(b9). Includes a 3-measure triplet in the second measure.

23

Musical notation for measures 26-28. Chords: F#m7(b5), B7, Bm7onE, E7(b9), Em7onA, A7.

26

DmM7 6 Dm7 G7 B^b7 A7

29

D7 G7 ConG I Dm7

♩ = ♩

32

G7 C FM7 Bm7(b5)

35

E7 Am7 AmM7 B7(#9)

39

E7 Am7 F#m7

43

B7 Bm7(b5) E7 F#m7(b5)

47

B7 Bm7(b5) E7 Em7

51

A7 Dm

55

58

Dm7 G7 B^b7 A7

62

D7 G7 C

66

Bass Solo

Last Theme

98

Dm7 G7 C F

102

Bm7(b5) E7 Am7

106

B7 E7 Am7

110

F#m7 B7 Bm7(b5) E7(b9)

114

F#m7(b5) B7 E7

Em7(b5)onA A7 DmM7

118

Dm7 G7(b9) Bb7 A7 D7

122

Rubato Ending

G7 F#m7(b5)B7 E7 A7 Dm (A7)

127

Dm7 G7 Em7(b5) A7 Dm7 G7(b9) Csus4 C

132

I FALL IN LOVE TOO EASILY

Words by Jule Styne & Music by Sammy Cahn

ORIGINAL TUNE

Musical score for the original tune of "I Fall in Love Too Easily". The score is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It consists of four staves of music. Above the notes, the following chords are indicated: Dm7, G7, C, FM7, Bm7(b5), E7, Am, Bm7(b5), E7, Am, F#m7, B7, E7, F#m7(b5), B7, E, Em7, A7, Dm, Dm7, G7, C, A7, Dm7, G7, C.

© Copyright 1944 by SKB/FEIST CATALOG INC.
 All Rights Reserved Used by permission
 Printing rights for Japan assigned to NICHION, INC.

冒頭のBallade (Tempo Rubato) でキース・ジャレットは、次の様なコード・チェンジをしている。オリジナルと比較してみてください。(1小節目から17小節目迄がBallade。)

Musical score showing chord changes for a Ballade version of "I Fall in Love Too Easily". The score is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It consists of four staves of empty musical notation with chord changes indicated above. The chords are: Dm7, D^b7(9), CM7(#5), FM7, Bm7(b5), E7, Am, B7(b5), B^b7, AmM7, B7, E7sus4, E, F#m7(b5), B7, E7(b9), E^b7 (#11/9), Dm, Dm7, G7alt, Em7(b5), A7, D7, G7, FonC, C.

I FALL IN LOVE TOO EASILY

Words by Jule Styne & Music by Sammy Cahn

IMPROVISATION OF CHORD PROGRESSION

♩ = ♩

A Dm7	G7	C	FM7
Dor	Mixo Alt	Ion	Lyd
34 C: II m7	V7	I	IV

Bm7(b5)	E7	Am	Am
Loc Alt Dor	Alt Hmp, 5 ↓	Tonic Min Dor	
38 Am: II m7(b5)	V7	Im	

A' B7	E7	Am7	Am
Alt	Alt	Tonic Min Dor	
42 II7	V7	Im	

F# m7(b5)	B7	Bm7(b5)	E7
Loc Alt Dor	Alt	Loc Alt Dor	Alt
46 E: II m7(b5)	V7	Am: II m7(b5)	V7

B F# m7(b5)	B7	Bm7(b5)	E7
Alt Dor	Alt	Alt Dor	Alt
50 E: II m7(b5)	V7	Am: II m7	V7

Em7(b5)	A7	Dm	Dm
Alt Dor	Alt	Tonic Min Dor	
54 Dm: II m7(b5)	V7	Im	

A' Dm7	G7	B ^b 7	A7
Dor	Mixo Alt	Lyd 7th	Alt
58 C: II m7	V7	bVII7	VI7

D7	G7	C	C
Lyd 7th	Mixo Alt	Ion	
62 II7	V7	I	

© Copyright 1944 by SKB/FEIST CATALOG INC.
All Rights Reserved Used by permission
Printing rights for Japan assigned to NICHION, INC.

このコーラス**A'**(34小節目～65小節)のImproviseはフェイクにとどまり、本来の意味でのImproviseの形態をとっていない。

(注) fakeとは、原曲のメロディーをある程度変化させて演奏することで、アドリブの様な自由奔放なものはfakeと言えない。原曲のメロディーをわずかに変化させることがfake。

ADVICE

I FALL IN LOVE TOO EASILY

●Ballade (Rubat) のハーモニーの技法。

冒頭のBalladeのハーモニー技法は、主としてTension Resolve (テンションが解決されること、つまりテンション・ノートからコード・トーンに解決すること。) が多用されています。

Ex. 1

B7(b5) B^b 7 13 -b7 AmM7 9 - 3 B7 11-3 E7 4 - 3

6

次もTension Resolveであるが、キース・ジャレットのテーマもしくはバラードにおけるハーモニーゼイションは、ビル・エヴァンス程の精緻さはみられない。

Ex. 2

Em7(b5) A7 11 ——— 3 D7 11 ——— 3 G7 9 ——— b9

15

●Themeの奏法について。

Theme (18小節より)からの奏法は主としてメロディーに対して左手がLeft Hand Voicingの形態をとっている。

●Endingについて。

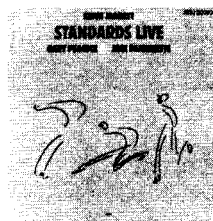
Ending (128小節より)はサビ(ブリッジ)のコード・プログレッションによっている。

(P.43 "ImprovisationのChord Progression"の図がサビ。)

THE WAY YOU LOOK TONIGHT

Improvised by Keith Jarrett
 Words by Dorothy Fields
 Music by Jerome Kern

●使用レコード



■スタンダードズ・ライブ(ポリドール)

- CD: J33J-20080, LP: 25MJ-3536, MC: 25CJ-3536
- 星影のステラ/サ・ロング・ブルース/恋に恋して/トゥ・ヤング・トゥ・ゴー
ステディ/スールド・カントリー/今宵の君は
- キース・ジャレット(Piano)、ゲイリー・ピーコック(Bass)、ジャック・ティ
ジヨネット(Drums)
- 1985年7月録音

Theme

F D7 Gm7 (G7alt) Gm7onC C7

F (E^b7) Am7 D7 Gm7 Gm7onC C7

Cm7onF F7 B^b C7

© 1972 by T. B. HARMS CO.
 Authorized Selling Agent in Japan : High Note Publishing Co., Ltd.

F D7 Gm7 C7 Am7 D7 Gm7 C7

13

F D7 Gm7 (G7alt) Gm7onC C7

17

F (Eb7) D7 Gm7 Gm7 C7

21

Cm7onF F7 Bb C7(Db7) C7(b9)

25

F D7 Gm7 C7 F Bbm7 Eb7

29

A^b F7 Bbm7 Eb7

33

A^b F7 Bbm7 Eb7

37

A^b F7 Bbm7 Gm7 C7

41

Fm7

Dm7(b5)

Gm7

C7

45

F

D7

Gm7 (G7alt)

C7

49

F

(E^b7)

Am7

D7

Gm7

Gm7onC

C7

53

Cm7

F7

B^b

E^b7

57

F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

61

I F D7 Gm7 C7

65

F D7 Gm7 C7

69

Cm7 F7 Bb C7

73

F D7 Gm7 C7 Am7 D7 Gm7 C7

77

F D7 Gm7 C7

81

F D7 Gm7 C7

85

Cm7 F7 Bb C7

89

F D7 Gm7 C7 F Bbm7 Eb7

93

A^b F7 Bbm7 Eb7

97

A^b F7 Bbm7 Eb7

101

A^b F7 Bbm7 Gm7 C7

105

Fm7 Dm7(b5) Gm7 C7

109

F D7 Gm7 C7

113

F (E^b7) D7 Gm7 C7

8va-----

117

Cm7 F7 B^b E^b7

8va-----

121

F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

8va

125

2 F D7 Gm7 C7

129

F D7 Gm7 C7

133

Cm7 F7 B^b C7 3

137

F D7 Gm7 C7 Am7 D7 Gm7 C7

141

F D7 Gm7 C7

145

F (E^b7) D7 Gm7 C7

8va-----

149

Cm7 F7 B^b C7

8va-----

153

F D7 Gm7 C7 F Bbm7 Eb7

157

A^b F7 Bbm7 Eb7

161

A^b F7 Bbm7 Eb7 A^b

165

F7 Bbm7 Gm7 C7 Fm 8va

170

174

Dm7(b5) Gm7 C7 F

8va

178

D7 Gm7 C7 F

8va

182

D7 Gm7 C7 Cm7onF

8va 16va

186

F7 Bb Eb7

16va 8va

F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

189

3 F D7 Gm7 C7

193

F D7 Gm7 (Gm7) C7

197

Cm7onF F7 Bb C7

201

F(A7alt) D7 Gm7 C7 Am7 D7(A^bm7) Gm7 C7

205

F D7 Gm7 C7

209

F D7 Gm7 C7

213

Cm7 F7 B^b C7

217

F D7 Gm7 C7 F Bbm7 Eb7

221

A^b F7 Bbm7 Eb7

225

A^b F7 Bbm7 Eb7

229

A^b F7 Bbm7 Gm7 C7

233

237

Fm Dm7(b5) Gm7 C7 8va

241

F D7 Gm7 C7

245

F D7 Gm7 C7

249

Cm7onF F7 Bb Eb7

F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

253

Last Theme

F D7

Drums Solo (1 chorus half)

Gm7 C7 F (Eb7) Am7 D7

Gm7 Gm7 C7 Cm7 on F F7

B^b Gm7 C7 F D7(A^bdim) Gm7 C7

Am7(A7alt) D7 Gm7 C7 F D7

Gm7(G7alt) C7 F (E^b7) Am7 D7

Gm7 C7 Cm7onF F7

B^b E^b7 F D7 Gm7 C7 F

The first system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with eighth and quarter notes. The middle staff is a grand piano staff with chords and some single notes. The bottom staff is in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. Chord symbols are placed above the treble staff: B^b, E^b7, F, D7, Gm7, C7, and F.

B^bm7 E^b7 A^b F7 B^bm7

The second system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with quarter and eighth notes. The middle staff is a grand piano staff with chords and some single notes. The bottom staff is in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. Chord symbols are placed above the treble staff: B^bm7, E^b7, A^b, F7, and B^bm7.

E^b7 A^b F7 B^bm7

The third system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with quarter and eighth notes. The middle staff is a grand piano staff with chords and some single notes. The bottom staff is in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. Chord symbols are placed above the treble staff: E^b7, A^b, F7, and B^bm7.

E^b7 A^b F7 B^bm7

The fourth system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with quarter and eighth notes, including a triplet. The middle staff is a grand piano staff with chords and some single notes. The bottom staff is in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. Chord symbols are placed above the treble staff: E^b7, A^b, F7, and B^bm7.

C7 Fm7 Dm7(b5) Gm7 C7

First system of musical notation (measures 1-5). The system includes a treble clef staff, a grand staff (treble and bass clefs), and a bass clef staff. The chords indicated above the staff are C7, Fm7, Dm7(b5), Gm7, and C7.

F D7 Gm7(G7alt) C7 F

Second system of musical notation (measures 6-10). The system includes a treble clef staff, a grand staff, and a bass clef staff. The chords indicated above the staff are F, D7, Gm7(G7alt), C7, and F.

D7 Gm7 C7 Cm7

Third system of musical notation (measures 11-14). The system includes a treble clef staff, a grand staff, and a bass clef staff. The chords indicated above the staff are D7, Gm7, C7, and Cm7. A triplet of eighth notes is marked with a '3' above it in measure 13.

F7 Bb C7 F D7 Gm7 C7

Fourth system of musical notation (measures 15-19). The system includes a treble clef staff, a grand staff, and a bass clef staff. The chords indicated above the staff are F7, Bb, C7, F, D7, Gm7, and C7.

Am7 D7 Gm7 C7 Am7 D7 Gm7 C7

The first system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with eighth and quarter notes. The middle staff is in bass clef and contains a piano accompaniment with chords and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. Chord symbols are placed above the first two staves.

F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

The second system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with eighth and quarter notes, including triplets. The middle staff is in bass clef and contains a piano accompaniment with chords and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. Chord symbols are placed above the first two staves.

F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

The third system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with eighth and quarter notes, including triplets. The middle staff is in bass clef and contains a piano accompaniment with chords and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. A dynamic marking '8va' is present above the bottom staff. Chord symbols are placed above the first two staves.

F D7 Gm7 C7 F

The fourth system of music consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with eighth and quarter notes. The middle staff is in bass clef and contains a piano accompaniment with chords and eighth notes. The bottom staff is also in bass clef and contains a bass line with quarter and eighth notes. A dynamic marking 'rit.' is present below the bottom staff. Chord symbols are placed above the first two staves.

THE WAY YOU LOOK TONIGHT

Words by Dorothy Fields & Music by Jerome Kern

ORIGINAL TUNE

F D7 Gm7 G7alt Gm7onC C7 F Eb7 Am7 D7

Gm7 Gm7onC C7 Cm7onF F7 Bb

1. C7 F D7 Gm7 C7 Am7 D7 Gm7 C7

2. F D7 Gm7 C7 F Bbm7 Eb7 Ab Fm7

Bbm7 Eb7 Ab Fm7 Bbm7

Eb7 Ab Fm Bbm7 Gm7 C7

Fm7 Dm7 (b5) Gm7 C7 F

D7 Gm7 (G7alt) Gm7onC C7 F Eb7 Am7 D7

Gm7 Gm7onC C7 Cm7onF F7 Bb

Eb7 F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

© Copyright 1936 by T. B. HARMS CO.
All Rights Reserved International Copyright Secured
Authorized Selling Agent in Japan: High Note Publishing Co., Ltd.

THE WAY YOU LOOK TONIGHT

Words by Dorothy Fields & Music by Jerome Kern

IMPROVISATION OF CHORD PROGRESSION

F D7 Gm7 C7 F (E^b7)

Ion Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Ion

F: I VI7 IIIm7 V7 I

D7 Gm7 C7 Cm7 F7 B^b

Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Dor Mixo Alt Lyd

VI7 IIIm7 V7 B^b: IIIm7 V7 I

1.

C7 F D7 Gm7 C7 Am7 D7 Gm7 C7

Mixo Alt Ion Hmp.5↓ Dor Mixo Phr Hmp.5↓ Dor Mixo Alt

F: V7

2.

F D7 Gm7 C7 F B^bm7 E^b7 A^b

Ion Alt Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Ion Dor Mixo Alt Ion

I VI7 IIIm7 V7 I A^b: IIIm7 V7 A^b: I

F7 B^bm7 E^b7 A^b F7

Alt Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Ion Hmp.5↓ Alt

VI7 IIIm7 V7 I VI7

B^bm7 E^b7 A^b F7 B^bm7

Dor Mixo Alt Ion Hmp.5↓ Alt Dor

IIIm7 V7 I VI7 IIIm7

Gm7(b5) C7 Fm7 Dm7(b5) Gm7 C7

Alt Dor Hmp.5↓ Dor Loc Alt Dor Dor Mixo Alt

Fm: IIIm7 V7 Im VIIm7(b5) F: IIIm7 V7

F D7 Gm7 C7 F (E^b7)

Ion Alt Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Ion

F: I VI7 IIIm7 V7 I

D7 Gm7 C7 Cm7 F7 B^b

Alt Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Dor Mixo Alt Lyd

IV7 IIIm7 V7 B^b: IIIm7 V7 F: I

E^b7 F D7 Gm7 C7 F D7 Gm7 C7

Lyd 7th Ion Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Ion Hmp.5↓ Dor Mixo Alt

bVII7 F: I VI IIIm7 V7 I VI7 IIIm7 V7

© Copyright 1936 by T. B. HARMS CO.
 All Rights Reserved International Copyright Secured
 Authorized Selling Agent in Japan: High Note Publishing Co., Ltd.

THE WAY YOU LOOK TONIGHT

ADVICE

『The way Look Tonight』のキース・ジャレットのImprovisationは、主として8分音符であるので中級者用の教材として大変良い。1st、2nd ImprovisationのL.H.Voicingが省略され、3rd ImprovisationからL.H.Voicingが加わることに注意。

●ThemeのReharmonizationについて。

キース・ジャレットは右手のメロディー・ラインのみで説得力ある音楽を創るタイプであるので、Themeのアプローチが大変シンプルだ。

『The Way You Look Tonight』においても、右手のメロディー・ラインと左手のL.H.Voicingで構成されている。〈ImprovisationのChord Progression〉のThemeの提示でリハモナイズされた個所があるので、説明してみよう。

Ex. 1

Original Chord F D7 (a) Gm7 (b) C7

Reharmonization F D7 Gm7 G7alt Gm7onC C7

21

25

29

①はオリジナル・コードがGm⁷に対して、Gm⁷ G⁷altと分割されている。

G⁷altのコードは、②のC⁷に対してDominant MotionによるReharmonizationを行った。

③はオリジナル・コードがC⁷(V⁷)に対して、IIIm⁷ V⁷の分割。

IIIm⁷ V⁷はGm⁷ C⁷となる。

c)のE^b7は、次のD⁷に対するDominant Motion。

A⁷↪D⁷は代理コードによってE^b7↪D⁷に置きかえられる。

d)のD^b7コードは、次のC⁷に対してDominant Motion。

G⁷↪C⁷は代理コードによってD^b7↪C⁷に置きかえられる。

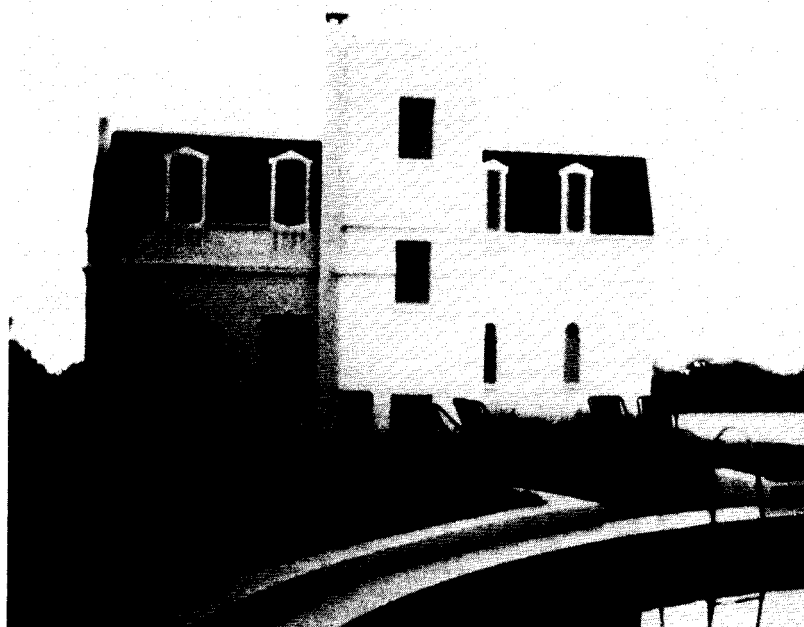
エンディング

●Endingについて。

EndingはThemeの一番最後のコード(Ex.2)が何回も繰り返され終結する。

Ex. 2

F: I VI7 II^m7 V7 I VI7 II^m7 V7



IF I SHOULD LOSE YOU

Improvised by Keith Jarrett

Words by Leo Robin

Music by Ralph Rainger

●使用レコード

■スタンダードズVol.2 (ポリドール)

Keith Jarrett

Gary Peacock
Jack DeJohnette

■ソー・テンダー/ムーン・アンド・サンド/イン・ラヴ・イン・ウェイン/ネヴァー・レット・ミー・ゴー/イフ・アイ・シュッド・ルース・ユー/アイ・フオール・イン・ラヴ/トゥー・イージー

■キース・ジャレット(Piano)、ゲイリー・ピーコック(Bass)、ジャック・ティジョネット(Drums)

■CD:J33J-20045、LP:25MJ-3475

■1983年1月録音

Theme

Am Bm7(b5) E7 3 Am

1

Gm7 C7 F Gm7 C7 F

5

Dm7 G7 C 3

9

© Copyright 1935, 1962 by FAMOUS MUSIC CORPORATION
All Rights Reserved Used by permission
Rights for Japan assigned to NICHION, INC.

Am7 D7 Dm7 E7

14

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7(b5)

18

F(E) F Gm7 C7(b5) F(E) F

22

Dm7 G7(#11) C(Cdim) C E7onG# Am

26

30

D7 Dm7onG C (E7)

34

I Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

38

F Gm7 C7 F

42

Dm7 G7 3 C

Am7 D7 Dm7 E7

46

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

50

F Gm7 C7 F

54

Dm7 G7 C E7 Am

58

D7 G7 C E7

62

2 Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

66

F Gm7 C7 F 3

70

Dm7 G7 C

74

Am7 D7 Dm7 E7

8va

78

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

82

F Gm7 C7 F 3

86

Dm7 G7 C E7 Am

90

D7 G7 C E7

94

[3] Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 3 C7

98

F Gm7 C7 F

102

Dm7 G7 C

106

Am7 D7 Dm7 E7

110

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

114

F Gm7 C7 F

118

Dm7 G7 C E7 Am

122

126

D7 G7 C E7

130

4 Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

134

F Gm7 C7 F

138

Dm7 G7 C

Am7 D7 Dm7 E7

142

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

146

F Gm7 C7 F

150

Dm7 G7 8va C E7 Am

154

158

D7 8va
G7 C E7

162

5 Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

166

F Gm7 C7 F

170

Dm7 G7 C

Am7 D7 Dm7 E7

174

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

178

F Gm7 C7 F

182

Dm7 G7 C E7 Am

186

190

D7 G7 C E7

194

Am 8va Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

198

F Gm7 C7 F

202

Dm7 G7 C

Am7 D7 Dm7 E7

206

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

210

F Gm7 C7 F

214

Dm7 G7 C E7 Am

218

222

D7 G7 C E7

226

7 Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

230

F Gm7 C7 F

234

Dm7 G7 C

Am7 D7 Dm7 E7

238

Am Bm7(b5) E7 Am Gm7 C7

242

F Gm7 C7 F

246

Dm7 G7 C

250

D7 G7 C

254

Bass Solo 8 bars (Piano & Drums)

63 95

Bass Solo 8 bars (Piano & Drums)

63 95

258

Last Theme

Am E7 Am Gm7 C7

418

F Gm7 C7 F

422

426

Dm7 G7 C(Cdim) C

430

Am7(E7) Am7 D7 Dm7 E7

434

Am E7 Am Gm7 C7

438

F Gm7 C7 F

Dm7 G7 C(Cdim) C E7 Am

442

D7 G7sus4 (F Phrygian Scale)

446

451

456

Musical score system 1, measures 461-465. The system consists of three staves: a treble clef staff at the top, a grand staff (treble and bass clefs) in the middle, and a bass clef staff at the bottom. The music is in a key with two flats (B-flat and E-flat) and a 3/4 time signature. The treble staff contains a melodic line with eighth and quarter notes. The grand staff features a complex accompaniment with many beamed notes and slurs. The bottom staff has a bass line with quarter and eighth notes.

Musical score system 2, measures 466-470. The system consists of three staves: a treble clef staff at the top, a grand staff (treble and bass clefs) in the middle, and a bass clef staff at the bottom. The music continues in the same key and time signature. The treble staff has a melodic line with some rests. The grand staff accompaniment is dense with many beamed notes. The bottom staff has a bass line with quarter notes.

Musical score system 3, measures 471-475. The system consists of three staves: a treble clef staff at the top, a grand staff (treble and bass clefs) in the middle, and a bass clef staff at the bottom. The music continues in the same key and time signature. The treble staff has a melodic line with some rests. The grand staff accompaniment is dense with many beamed notes. The bottom staff has a bass line with quarter notes.

Musical score system 4, measures 476-480. The system consists of three staves: a treble clef staff at the top, a grand staff (treble and bass clefs) in the middle, and a bass clef staff at the bottom. The music continues in the same key and time signature. The treble staff has a melodic line with some rests. The grand staff accompaniment is dense with many beamed notes. The bottom staff has a bass line with quarter notes.

IF I SHOULD LOSE YOU

Words by Leo Robin & Music by Ralph Rainger

ORIGINAL TUNE

The musical score is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It consists of six staves of music. The first staff begins with a repeat sign and a double bar line. The second staff contains a triplet of eighth notes. The third staff is marked with a first ending bracket. The fourth staff contains a double bar line. The fifth staff is marked with a second ending bracket. The sixth staff concludes the piece with a double bar line.

Chords and notation for each staff:

- Staff 1: G#dim on A, Am, Bm7(b5), E7(#9), G#dim on A (triplet), Am
- Staff 2: Gm7, C7, C7(#5) on F, F, Gm7, C7, C7(#5) on F (triplet), F
- Staff 3: Dm, G7, Dm7, G7, C dim, C (1. ending)
- Staff 4: Bm7(b5), E7, G#dim7 on A, Am, D7, Dm, Bb7
- Staff 5: G7, E7, G7, Dm7, G7, C dim, C (2. ending)
- Staff 6: E7, Am, Dm7, G7, C, Bm7(b5), E7

© Copyright 1935, 1962 by FAMOUS MUSIC CORPORATION
All Rights Reserved Used by permission
Rights for Japan assigned to NICHION, INC.

IF I SHOULD LOSE YOU

Words by Leo Robin & Music by Ralph Rainger

IMPROVISATION CHORD PROGRESSION

Am	Bm7(b5)	E7	Am	Gm7	C7
Tonic Min	Loc	Alt Hmp.5↓	Tonic Min	Dor	Mixo Alt
Am: Im	Im7(b5)	V7	Im	F: Im7	V7

F	Gm7	C7	F
Ion	Dor	Mixo Alt	Ion
I	Im7	V7	I

1.

Dm7	G7	C
Dor	Mixo Alt	Ion
C: Im7	V7	I

Am7	D7	Dm7	E7
Aeo	Lyd 7th	Dor	Alt Hmp.5↓
VIm7	II7	Im7	Am: V7

2.

Dm7	G7	C	E7	Am
Dor	Mixo Alt	Ion	Alt Hmp.5↓	Aeo
C: Im7	V7	I	Am: V7	Im

D7	G7	C	E7
Lyd 7th	Mixo Alt	Ion	Alt Hmp.5↓
C: II7	V7	I	Am: V7

© Copyright 1935, 1962 by FAMOUS MUSIC CORPORATION
 All Rights Reserved Used by permission
 Rights for Japan assigned to NICHION, INC.

IF I SHOULD LOSE YOU

ADVICE

● ImprovisationにおけるMotifの展開。

ImprovisationにおけるMotifの展開の卓越したプレイヤーとして、ハービー・ハンコックが挙げられるが、キース・ジャレットにも部々的な用法が見られる。

Ex. 1

Ex. 1 shows two staves of music. The first staff starts at measure 32 and features chords C, E7, Am, Bm7(b5), and E7. The second staff starts at measure 36 and features chords Am, Gm7, C7, and F. Motifs are indicated by brackets labeled 'M' above the notes. A box labeled 'I' is placed above the first measure of the second staff.

ImprovisationのPick upから6小節間において展開されているフレーズのMotifのリズムはEx.2。

Ex. 2

Ex. 2 shows a single staff of music with two motifs, each indicated by a bracket labeled 'M' above the notes.

EX. 3

EX. 3 shows two staves of music. The first staff starts at measure 126 and features chords D7, G7, C, and E7. The second staff starts at measure 130 and features chords Am, Bm7(b5), E7, and Am. Motifs are indicated by brackets labeled M1 and M2 above the notes. A box labeled '4' is placed above the first measure of the second staff.

Ex.3において、M₁は原型のMotif。M₂はM₁のMotifの冒頭の8分音符を省略したもの。

EX. 4

EX. 5

●Endingについて。

D⁷ G⁷ → C と Tonic に解決すべき個所が、Tonic の代わりとして F の Phrygian を導入し、意外性を持たせ、
 C:II⁷ V⁷ I F Phrygian のままで終結している。
 448小節目からのEndingが、F Phrygian Scale。

Ex. 6

アバインド(省略音)

ケア(省略音ではないがヴォイスニングの際に気をつける音)

Ex. 7

Ex.6㉓がF Phrygian Scale。Ex.7㉔はキース・ジャレットによって、Phrygian Scaleから導き出されたコード。
 モーダルなハーモニゼーションの場合は、^{アボイド}Avoidの b_2 の音もヴォイスングに参加する。

●Bass奏者による^{ペダル}Pedal ^{ポイント}Point。

Bass奏者(Gary Peacock)が正規のChord Progressionによらず、Pedalによる奏法が出現する。それはImprovisationの変化と言う意味で音楽的だ。

EX. 8 (Bass)

EX. 9 (Bass)

EX. 10 (Bass)

(注) Ex.9、Ex.10以外の個所で370小節から8小節間、386小節から4小節間にPedalが用いられている。

IN LOVE IN VAIN

Improvised by Keith Jarrett
 Words by Leo Robin
 Music by Jerome Kern

●使用レコード

Keith Jarrett
 Gary Peacock
 Jack DeJohnette

■スタンダードズVol.2 (ポリドール)

- ソニー・テンター/ムーン・アンド・サンド/イン・ラブ・イン・ウェイン/ネヴァー・レット・ミー・ゴー/マイ・アイ・シユッド・ルース・ユー/アイ・フオール・イン・ラブ・トゥー・イー・ジリー
- キース・ジャレット(Piano)、ゲイリー・ピーコック(Bass)、ジャック・ティ・ジョネット(Drums)
- CD:J33J-20045、LP:25MJ-3475
- 1983年1月録音

Rubato

E^bonB^b E7onB^b F7 B^b E^b B^b Em7(b5) A7 Dm7 G7

Cm F7 Em7(b5) E^bm7 Dm9 Cm7onF in Tempo ♩ = ♩

Theme

B^b Cm7 F7 Gm7 Cm7 F7

B^b G7 Cm7 F7 Dm7 Dm7(b5)gnG G7

11

© 1972 by T. B. HARMS CO.
 Authorized Selling Agent in Japan: High Note Publishing Co., Ltd.

Cm7 Cm7onB^b Am7(b5) D7 Gm7

Musical notation for measures 15-18. The system includes a grand staff with a treble clef and two bass clefs. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the two bass clefs. Measure 15 starts with a treble clef and a bass clef. Measure 16 has a treble clef and a bass clef. Measure 17 has a treble clef and a bass clef. Measure 18 has a treble clef and a bass clef. A dashed line labeled '8va' spans measures 17 and 18. A triplet of eighth notes is marked above the melody in measure 16.

Gm7onC C7 Cm7onF F7

Musical notation for measures 19-22. The system includes a grand staff with a treble clef and two bass clefs. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the two bass clefs. Measure 19 starts with a treble clef and a bass clef. Measure 20 has a treble clef and a bass clef. Measure 21 has a treble clef and a bass clef. Measure 22 has a treble clef and a bass clef. A triplet of eighth notes is marked above the melody in measure 21.

Em7(b5)onB^b E^bm7 B^bonD D^bdim Cm7 Cm7onF F7

Musical notation for measures 23-26. The system includes a grand staff with a treble clef and two bass clefs. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the two bass clefs. Measure 23 starts with a treble clef and a bass clef. Measure 24 has a treble clef and a bass clef. Measure 25 has a treble clef and a bass clef. Measure 26 has a treble clef and a bass clef.

B^b G7 Cm7 Cm7onF Fm7 B^b7

Musical notation for measures 27-30. The system includes a grand staff with a treble clef and two bass clefs. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the two bass clefs. Measure 27 starts with a treble clef and a bass clef. Measure 28 has a treble clef and a bass clef. Measure 29 has a treble clef and a bass clef. Measure 30 has a treble clef and a bass clef. A triplet of eighth notes is marked above the melody in measure 28.

31

E^b A7 Dm Dm7(b5)onG G7(b9)

35

Cm7 F7 Em7(b5)onF E^bm7onF B^bonD F7

39

I B^b Gm Cm7 F7 Gm7 Cm7 F7

43

B^b G7 Cm7 F7 Dm7 G7

8va-----3 3

Cm7 Cm7onB \flat Am7(A7) D7 Gm (D7) Gm

47

C7 Cm7

51

F7 Em7(b5) E \flat m7 B \flat onD D \flat dim

54

Cm7 F7 B \flat G7 Cm7 F7

57

61

Fm7 B \flat 7 E \flat A7

8va-

65

Dm7 G7 Cm7 F7

69

B \flat 2 B \flat Gm Cm7 F7

73

Gm7 Cm7 F7 B \flat G7 Cm7 F7

Musical notation system 1 (measures 77-79). Chords: Dm7, (D7), G7, Cm7. Includes fingerings (5, 3, 5) and a triplet (3).

Musical notation system 2 (measures 80-81). Chords: Am7, D7, Gm7. Includes fingerings (5, 5, 6, 5, 3, 5).

Musical notation system 3 (measures 82-83). Chords: C7. Includes fingerings (6, 6, 7, 6, 6, 7).

Musical notation system 4 (measures 84-85). Chords: Cm7, F7. Includes a triplet (3).

Em7(b5)

Ebm7

B^bonD

D^bdim

Cm7

8va

87

F7

B^b

G7

Cm7

F7

Fm7

90

B^b7

E^b

A7

8va

Dm7

94

G7

Cm7

F7

B^b

G7

8va

98

102

Cm7 F7 ³ ³ 3 B^b Gm Cm7 F7 Gm7

106

Cm7 F7 B^b G7 Cm7 F7 Dm7

110

G7 Cm7 Am7 D7 Gm7

114

(D7) Gm C7 Cm7

118

F7 Em7(b5) E^bm7 B^bonD D^bdim Cm7

122

F7 B^b G7 Cm7 F7 Fm7

126

B^b7 E^b 8va A7 Dm7

130

G7 Cm7 F7

B^b G7 Cm7 F7 8va 4 B^b Gm

133

Cm7 F7 Gm7 Cm7 F7

136

B^b G7 Cm7 F7 5 Dm7 6 6

139

G7 Cm7 Cm7onB^b

142

Am7 8va D7 Gm

144

C7

146

Cm7 F7 Em7(b5) Ebm7

149

B^bonD D^bdim Cm7 F7

152

B \flat G7 Cm7 F7 8va Fm7 B \flat 7

155

E \flat 8va A7 Dm Dm7(b5)onG G7

159

Cm7 F7 B \flat G7 Cm7 F7

163

Last Theme

Bass Solo 31 B \flat Gm Cm7

167

201

Gm7 Cm7 F7 B^b G7 Cm7 F7

205

Dm7 Dm7(b5)onG G7 Cm7 Am7(b5) D7

209

Gm7 GmonC C7

213

Cm7onF Em7(b5) E^bm7 B^bonD D^bdim

217

Cm7 Cm7onF B^b G7 Cm Cm7onF

221

Fm7 B^b7 E^b Em7(b5) A7

8va rit.

225

Dm G7sus4 G7 Cm7 F7

229

Rubato

Em7(b5) E^bm7 Dm7 D^bdim7 Cm7 F7 B^b

IN LOVE IN VAIN

Words by Leo Robin & Music by Jerome Kern

ORIGINAL TUNE

The musical score consists of seven staves of music in G minor (one flat). The melody is written in a single line with various chord markings above it. The chords are: B^b, Cm7, F7, Gm7, Cm7, F7, B^b, G7, Cm7, F7, Dm7, G7, Cm, Am7, D7, Gm7, Gm7onC, C7, Cm7, F7, Fm7, B^b7, E^b, A7, Dm7, G7, Cm7, F7, Cm, B^b.

© 1972 by T. B. FARMS CO.
Authorized Selling Agent in Japan : High Note Publishing Co., Ltd.

IN LOVE IN VAIN

Words by Leo Robin & Music by Jerome Kern

IMPROVISATION CHORD PROGRESSION

A B^b Gm Cm7 F7 Gm7
 Ion Aeo Dor Mixo Alt Aeo
 B^b: I VIm Im7 V7 VIm7

Cm7 F7 B^b G7 Cm7 F7 Dm7 G7
 Dor Mixo Alt Ion Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Phr Alt Com-dim
 Im7 V7 I VI7 Im7 V7 Cm: Im7 V7

B Cm7 Cm7onB^b Am7(b5) D7 Gm7
 Dor Loc Alt Tonic Min
 I m Gm: Im7 V7 F: Im7

C7 Cm7 F7
 Lyd 7th Dor Mixo Alt
 V7 B^b: Im7 V7

A Em7(b5) E^b m7 B^b onD D^b dim Cm7 F7
 Loc Alt Dor Dor Ion Dim Dor Mixo Alt
 #IVm7(b5) IVm7 I bIII dim Im7 V7

B^b G7 Cm7 F7 Fm7 B^b7
 Ion Hmp.5↓ Dor Mixo Alt Dor Mixo Alt
 I VI7 Im7 V7 E^b: Im7 V7

B E^b A7 Dm G7
 Lyd Ion Alt Hmp.5↓ Dor Tonic Min Alt Hmp.5↓
 I Dm: V7 Cm: Im7 V7

Cm7 F7 B^b F7
 Dor Mixo Alt Ion Mixo Alt
 B^b: Im7 V7 I V7

© 1972 by T. B. HARMS CO.
 Authorized Selling Agent in Japan : High Note Publishing Co., Ltd.

IN LOVE IN VAIN

ADVICE

イントロダクション

●Introductionについて。(1小節目～6小節目迄。)

テーマ

Introductionは、Themeの最後の8小節が応用されている。

Ex. 1

26

30

(採譜された楽譜はEx.1を縮小しているので注意下さい。Ex.1の楽譜番号はOriginal Tuneによる。)
キース・ジャレットは冒頭の | Eb | A7 | の部分を、リハモナイズし、Originalの

Cm7	F7	Bb	Bb	
Bb: IIIm7	: V7	: I		

の箇所は^{トニック}Tonic ^{コード}Chordに解決せず、

Cm7	F7	Em7(b5)	Eb m7	Dm9	Cm7(on F)	
Bb: IIIm7	: V7	: #IVm7(b5)	IVm7	IIIIm7	IIIm7(on V)	:

の様に偽終止(^{ディセプティブ}Deceptive ^{ケーデンス}Cadence)している。

テーマ
●Themeについて。(7小節より)

Themeの提示は、メロディーと^{レフト} ^{ハンド} ^{ボイシング} Left Hands Voicingによって構成されている。

^{インプロヴァイズ}Improviseの④でキース・ジャレットは重大なミスを犯している。

コーラスの初めのコード進行は| B^b | Cm7 F7 | Gm7 | Cm7 F7 [↑]であるのに、キース・ジャレットは| Em7(b5) E^bm7 | B^b(on D) D^bdim | Cm7 [↑]にってしまった。

P.110の“ImprovisationのChord Progression”を見ると全体の構成が[A][B][A][B]となっていることが解るが、[A]のコードの代わりに[A]にミスしてプレイしてしまったことが解る。ベース奏者が、ミスした個所から2小節目で、すぐにキース・ジャレットのコードにあわせている。

^{エンディング}Endingについて。

Introductionの後半に^{ディセプティブ} ^{ケーデンス}Deceptive Cadenceの技法が用いられていることと同様に、EndingにおいてもDeceptive Cadenceが用いられている。

Ex. 2 Original Tune

Ex. 3 Deceptive Cadence

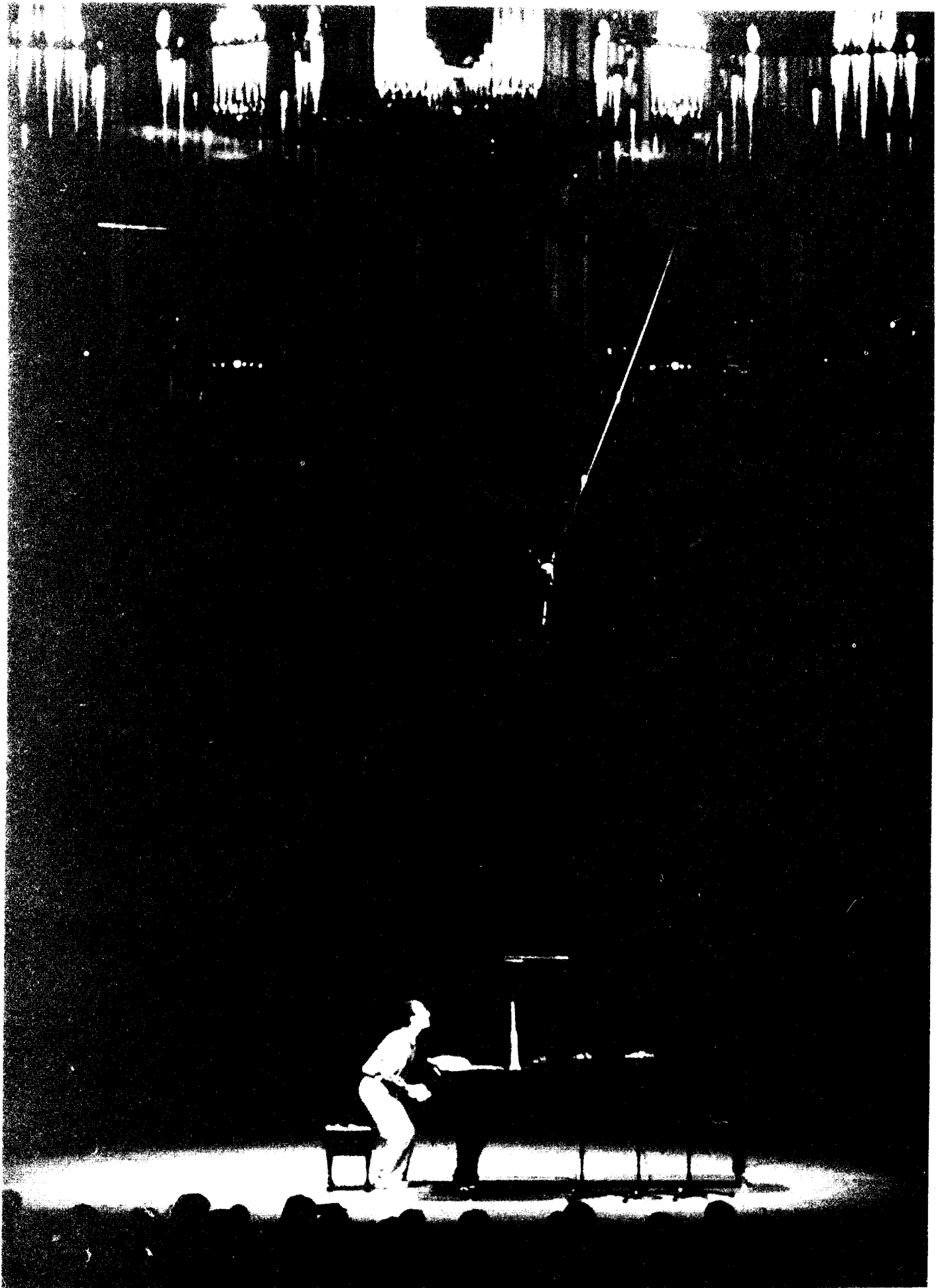
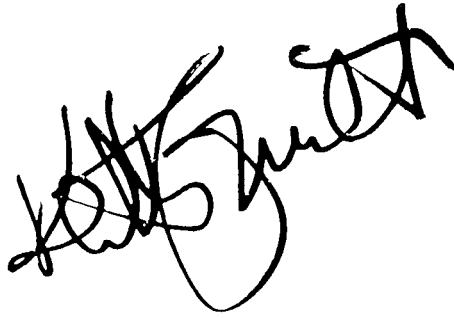




Photo by Kishin Shinoyama



**KEITH
JARRETT**
キース・ジャレット ピアノ奏法
VOL 2

稲森康利編曲によるやさしいキース・ジャレット・ピアノ・ソロ

- STELLA BY STARLIGHT
- IT NEVER ENTERED MY MIND
- FALLING IN LOVE WITH LOVE

Improvised by Keith Jarrett

1. *THE MASQUERADE IS OVER* (H. Magidson & A. Wrubel)

Improvised by Keith Jarrett

2. *I FALL IN LOVE TOO EASILY* (J. Styne & S. Cahn)

Improvised by Keith Jarrett

3. *THE WAY YOU LOOK TONIGHT* (D. Fields & J. Kern)

Improvised by Keith Jarrett

4. *IF I SHOULD LOSE YOU* (L. Robin & R. Rainger)

Improvised by Keith Jarrett

5. *IN LOVE IN VAIN* (L. Robin & J. Kern)



ISBN4-88639-533-3 C0073 ¥2000E

★定価2,000円